輸送機械整備技術系の教育訓練目標

輸送機械整備技術系の構成（能開大に設置されている科のみ表記）

輸送機械整備技術系　――――――　航空機整備科

■業界に求められる人材像

科学技術の最先端にある航空機産業界における整備技術は、航空機の安全に運航させる重要な役割を担っている。ついては、航空機整備に必要な知識及び技能・技術を備えて、かつ、その技能・技術を最先端の航空機整備技術に活用できる想像力、改善能力を持った人材が求められる。

■教育訓練目標

航空機整備科では、整備の基礎である電気、電子、材料、力学について学習し、板金、計測、ボルトナット締結、ケーブルホースの製作等の航空機整備に必要な整備技術を習得するとともに、航空機整備の専門知識である機体の仕組み、機体に加わる空気力、航空機用発動機、プロペラに関する原理、構造、性能、航空機に装備する電気、計器、電子装備を学習し、機体構造の分解、組立て、調整方法、ピストン発動機、プロペラの分解、組立て、調整方法、各装備品の取り扱い、調整方法等を習得した航空界に必要な実践技能者の育成を教育訓練目標とする。